

自分もみんなも 明るく うれしく よかったね

1月号

新井中央小だより

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html> No.245

メールアドレス chuou@ac.city.myoko.niigata.jp 2020（令和2）年1月31日

信頼

2学期後半から3学期初めにかけて、面談等で保育園・こども園も含めて保護者のみなさんと個別にお話する機会がたくさんありました。それぞれの保護者の方々と話しながら、とても嬉しく感じたことがあります。それは、学校への「信頼」です。開校以来、30年近く新井中央小学校が取り組んできた教育活動に、そして新井中央小学校らしさに信頼を寄せていただいていることをとても嬉しく思います。嬉しく思っているだけでなく、もう少し考えてみました。この信頼は、学校だけで築けるものではないと思いました。兄弟姉妹がいらっしゃる方からは、上のお子さんの時の経験から、下の子の話をする時、学校への感謝と信頼の言葉をいただきました。初めてお子さんが入学される方は、先輩の保護者や知り合いからの情報や助言等で、信頼感をもっていただいているようでした。保育園やこども園でも「新井中央小学校なら大丈夫ですよ。」とお声がけいただいているようで、これも感謝です。先日、スクールバスの接触事故があった時は、いち早く学校に第一報を入れてくださったのは、地域の自治会長さんでした。おかげさまで、すぐに職員が駆けつけ、子どもたちの無事を確認することができました。接触事故は残念なことでしたが、地域の方の温かい思いに触れることができました。合言葉「自分も みんなも 明るく うれしく よかったね」の「よかったね」という実感が、保護者、地域、園等で共有され、引き継がれて「信頼」が築かれているのかなと勝手に考えて嬉しく思っています。

保護者の方々とお話した中で、私が感銘を受けた話があります。お話してくださった保護者には、快く掲載許可をいただきましたので、以下に紹介します。

妙高市立ひばり園で「のびのび教室」を実施しています。市内園児を対象に、小学校生活がスムーズにスタートできるよう、その子のよさを伸ばすとともにその子の課題に対応したプログラムを用意、実施しています。小学校での授業を想定して、机・椅子に座っての学習もあります。その方のお子さんは、この「のびのび教室」に月に何回か通っていました。今までできなかったことができるようになり、本人も保護者もとても喜んでいました。でも、ある日、年下の子から、「のびのび教室」に通っていることをばかにする言葉をかけられてしまいました。その一言で、その子は、しばらくの間、落ち込んでしまいました。そして、もう一度、その年下の子から同じことを言われてしまいました。その時、その子の一番仲良しの子がその場に一緒にいて、年下の子にこう言い切ったそうです。

「〇〇くんは、ばかじゃないから。」

そして、親友の手をひいて別の部屋に入っていったそうです。それから、お子さんは、また、元気に喜んで「のびのび教室」に通うようになったそうです。

私は、この話に感激しました。偏見と差別をきっぱりはねのける強さ、たくましさ。二人の間の深く強い「信頼」。二人は、ともに恐竜を愛する趣味の合う仲間だそうです。やっぱり趣味の仲間の絆は、強いな一。（「そこじゃないでしょ！」みなさんのツッコミが入りそうですね・・・）

信頼のある仲間は、何があっても乗り越えていける。信頼のある仲間は、みんなの居心地がいい。

2020年がスタートしました。今年もよろしくお願ひします。

校長 加藤 晃